

※時間割はまだ未確定ですので、曜日等変更する可能性があります。

## 《履修証明プログラム 開講時間割表（2012年度前期4月～8月）》

■ = 実習の各コース共通科目   ■ = 講義の各コース共通科目   □ = ガラス   □ = 陶芸   □ = ジュエリー   □ = 木工

曜日	分野別 コース別	9:00	10:30	10:40	12:10	13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50				
		1		2		昼休み	3		4		5				
月	ガラス	①複合素材演習 (初心者～中級者)[45時間]					②クラフト美術基礎A (初心者)[45時間]								
	陶芸														
	ジュエリー														
	木工														
火	陶芸							③陶芸演習 I (中級者～上級者)[45時間]							
	ジュエリー							④ジュエリー&メタル演習 I (中級者～上級者)[45時間]							
水	ジュエリー			⑤現代クラフト自由課題① (上級者)[45時間]											
	木工			⑥玩具演習 (中級者～上級者)[45時間]											
木	講義							⑦工芸材料論 [22.5時間]		⑦工芸概論工芸史 [22.5時間]					
	ジュエリー			⑧七宝演習 I (中級者～上級者)[45時間]				⑨金工演習 (中級者～上級者)[45時間]							
金	ガラス			⑤現代クラフト自由課題② (上級者)[45時間]				⑩ガラス演習 I (中級者～上級者)[45時間]							
	陶芸														
	木工											⑪木工・家具・玩具演習 I (中級者～上級者)[45時間]			

※〔 〕内の時間は、15週の総時間数です。

【授業内容】 ※さらに詳しい授業内容については、本学HP (<http://www.kobe-du.ac.jp/campuslife/class/schedule/syllabus/>) をご覧ください。

- ①2種類以上の素材を使って創作活動を実習する
- ②4種全て、素材別に3週間ずつ初期の制作加工法を体験する
- ③手ひねり、ロクロ、タタラ等の基礎的な陶芸技法の習得
- ④金属の基本的な加工法を基に、打ち出し、象嵌等の伝統的加工法や表面処理法の習得
- ⑤各自のテーマを基に自由制作
- ⑥形態・色彩・動きについてトータルした表現の実現を目的とした、からくり玩具の制作
- ⑦工芸専門分野の講義、2題
- ⑧金属にガラス粉を焼き付ける七宝技法の基本的な工法の習得
- ⑨石留加工や精密鑄造等の技法の習得
- ⑩2つ以上の加工技法により、1つの作品を制作
- ⑪木工の箱物技法の習得

### 【履修コース組み立てに当たっての注意点】

- 1プログラム、120時間以上になるように授業を選択してください。授業は毎週行われ、半期期間中、15回行われます。
- 受講者は個人のレベルを、おおむね3段階《初心者》《中級者》《上級者》を目安に組み立ててください。
- 1プログラムが完了した後、続けて次のプログラムに出願することが出来ます。
- クラフトの実習指導は、個人単位の作業です。どの時間の実習授業を選択しても学部学生の授業レベルに関係なく、個人のレベルに合わせた作業と指導が可能です。

### 【履修ガイドライン】

#### 《初心者の方…経験のない方》

- ◎講義から「工芸材料論」「工芸概論工芸史」の2講座   ◎実習から「複合素材演習」「クラフト美術基礎A」の2講座

#### 《中級者…工芸系専門の高等学校または、カルチャーセンター等で実技を経験した方》

- ◎講義から「工芸材料論」「工芸概論工芸史」の2講座   ◎実習から「各素材の演習」「現代クラフト自由課題」を中心に2講座

#### 《上級者…4年制の専門大学または専門学校等で実技習得した方》

- ◎講義から「工芸材料論」「工芸概論工芸史」の2講座   ◎実習から「各素材の演習」「現代クラフト自由課題」を中心に2講座